

マルコの福音書 7章 24-37節 すべての人へのイエスの招き

今日は、イエスが旅をした中でも最も長い、120マイル（193キロメートル）の旅路と一緒に見て行きましょう。この旅路は、地図上の青い点のあたりから始まり、ツロ近郊の赤い点、シドンを示す緑の点を経て、デカポリス地方の黄色い点で終わります。マルコの福音書7章24～37節では、イエスにつき従うことへの招きは誰に与えられているのか、を示す2つの出来事が起こります。そして、答えは「すべての人」であることが明らかになります。ここで最も重要なことは、この旅路はユダヤ人ではなく異邦人の地域を通るものであり、2つの出来事には、異邦人が関わっているということです。ここはイエスと同じユダヤ人が住まない地域だったとみられますが、イエスの名声は既に広まっており、人々はイエスのことを知っていました。マルコの福音書5章を振り返ってみると、イエスが悪霊にとりつかれた異邦人の男を癒し救いましたが、このとき、いつもとは異なり、5章19節で「あなたの家、あなたの家族のところに帰りなさい。そして、主があなたに、どんなに大きなことをしてくださったか、どんなにあわれんでくださったかを知らせなさい。」とこの男に言われました。この人が、強力な宣教師のひとりとなってイエスの名を広めたと考えられます。ユダヤ人は通常、その地域を完全に避けていたにもかかわらず、この男の地域やそれより遠い地域の異邦人たちが、イエスのことを知っていたからです。

これらの背景を頭に入れた上で、24節から30節までの、最初の出来事を読んでみましょう。イエスは立ち上がり、そこからツロの地方へ行かれた。家に入って、だれにも知られたくないと
思っておられたが、隠れていることはできなかった。²⁵ ある女の人が、すぐにイエスのことを
聞き、やって来てその足もとにひれ伏した。彼女の幼い娘は、汚れた霊につかれていた。²⁶ 彼女
はギリシア人で、シリア・フェニキアの生まれであったが、自分の娘から悪霊を追い出して
くださるようイエスに願った。²⁷ するとイエスは言われた。「まず子どもたちを満腹にさせな
ければなりません。子どもたちのパンを取り上げて、小犬に投げてやるのは良くないこと
です。」²⁸ 彼女は答えた。「主よ。食卓の下の小犬でも、子どもたちのパン屑はいただきま
す。」²⁹ そこでイエスは言われた。「そこまで言うのなら、家に帰りなさい。悪霊はあなたの
娘から出て行きました。」³⁰ 彼女が家に帰ると、その子は床の上に伏していたが、悪霊はす
でに出ていた。

遠い異邦人の地域であるツロとシドンで起こったこの最初の出来事は、イエスにつき従うことへの招きは、すべての人に与えられていることを示す土台となります。ツロとシドンという地域は異邦人の地であり、マルコが明らかにしているように、イエスのもとに来たこの女性も異邦人です。彼女が異邦人であるということが、この出来事において中心的意味を持っています。ユダヤ人はユダヤ人以外の人、つまり異邦人を嫌っていました。このような態度は彼らの社会全体に広まっており、ユダヤ人の宗教指導者たちが作った、人による慣習として聖書にない規則が作られ、異邦人と接触するような状況に置かれることはほぼすべて、霊的に汚れた状態になることだと見なされていました。イエスがこの異邦人の女性にかけた言葉にもこの状況が表されており、異邦人がどのように見られていたかが示されています。イエスは、この女性を実質的に犬と同じ種類とみなしています。犬はたいていの場合、かわいいペットとは思われていませんでした。誰かを犬と呼ぶことは、間違いなく軽蔑的な行為でした。しかし人種的な偏見であるとイエスを非難する前に、イエスの言葉と、なぜイエスがそのようなことを言ったのかを理解する必要があります。わたしたちが読むことのできる翻訳では一番大事な点が訳されていないようで、イエスが犬として使った言葉は、一般的に犬を表す言葉ではなく、多くの場合ペットとして家庭で飼われる小型犬を意味する特定の言葉だったのです。イエスは犬を表す言葉の中でも、同胞のユダヤ人が使う侮辱的な言葉よりは軽い表現を使っていたということです。それはなぜかということ、イエスの目的はユダヤ人と同じように人種で差別をすることではなく、女性の信仰を試し、神が受け入れるのはどのような人かを示すことだったからです。先週、第7章の19節で、ユダヤ人にとっては律法に基づき多くの食べ物が汚れたものとされていたが、イエスはすべての食べ物は清いと宣言されたことを見ました。そして今日の箇所ではイエスは、イエスにつき従い、神との和解を得

られる機会は、ユダヤ人だけでなく、すべての人に平等に与えられていることを示そうとしています。

この女性は、イエスに、自分のために、娘から悪霊を追い出してくれるようお願いしています。このように頼むということは、この女性が既に、イエスの力を信じていることを示しています。そしてそれは、イエスにレギオンと名乗る悪霊を追い出してもらった男の証しを聞いたからかもしれません。イエスはこれに対し、犬という言葉を使って、子供たちの皿から食べ物を取って、テーブルの下にいる家族の犬にあげたりはしませんよ、という意味の答えを与えています。この返答には親しみが示されており、ほとんどのユダヤ人は怒ったと思われます。異邦人はそもそも、ペットのように、家族の食事の場にいられるような存在ではありませんでした。異邦人は、野良犬のように避けられていました。しかし女性は、家の犬も子供たちの皿から落ちたパンくずを食べて、家の中で、子供たちの特別な位置から恩恵を受けている、と述べます。イエスは、女性のこの信仰に満ちた反応に対して答えているのです。ここに、神の民の一員であるとはどういうことかに対する、深い理解が示されています。犬の例えを用いたイエスに対する、この女性のシンプルながら信仰に満ちた応答の内容は、ローマ人への手紙9～11章で使徒パウロが深く神学的な議論により明示していることと同じなのです。まずは**ローマ人への手紙9章6～8節**を読みましょう。しかし、**神のことばは無効になったわけではありません。イスラエルから出た者がみな、イスラエルではないからです。**⁷ **アブラハムの子どもたちがみな、アブラハムの子孫だということではありません。むしろ、「イサクにあって、あなたの子孫が起こされる」からです。**⁸ **すなわち、肉の子どもがそのまま神の子どもではなく、むしろ、約束の子どもが子孫と認められるのです。**ここで聖書のイサクとイシュマエルの話は、イスラエル人あるいはユダヤ人として生まれた人すべてが、実際に神に選ばれた民であるわけではないことを示すために使われています。イシュマエルもイサクもアブラハムに生まれましたが、約束の子として選ばれたのはイサクであり、そのイサクからイスラエルの国、神に選ばれた民が起こされることとなります。つまり、真のイスラエルの民とは、ユダヤ人やイスラエル人として生まれた者ではなく、イエス・キリストにあって新しく生まれ、神の民とされた人々のことなのです。読み進めると、**ローマ人への手紙9章30～32節**には次のように書かれています。**それでは、どのように言うべきでしょうか。義を追い求めなかった異邦人が義を、すなわち、信仰による義を得ました。**³¹ **しかし、イスラエルは、義の律法を追い求めていたのに、その律法に到達しませんでした。**³² **なぜでしょうか。信仰によってではなく、行いによるかのように追い求めたからです。彼らは、つまずきの石につまずいたのです。**これは、イエスが何度も触れている問題の核心です。イスラエルの国民は、ほとんどの場合、自分たちを罪から、そして律法を守れないことから救ってくださる、来るべき救い主への信仰に至る真の義を拒んでいました。そして、パリサイ人などの宗教的指導者の決まりを信頼していました。異邦人の女性との会話と、彼女の娘に与えられた癒しは、イエスが救うために来られたのは、単にイエスと同じ民族として生まれたユダヤ人ではなく、信仰によりイエスのもとに来るすべての人であるという、救いの意図を示しているのです。使徒パウロは、聖霊による靈感により、このことを、異邦人が木の枝に接ぎ木されると表しています。**ローマ人への手紙11章17節に、枝の中のいくつかが折られ、野生のオリーブであるあなたがその枝の間に接ぎ木され、そのオリーブの根から豊かな養分をともに受けているのなら、**と書かれているとおりです。ですから、私たち異邦人は、接ぎ木されることによって、オリーブの木であるイスラエルに示された恩恵にあずかり、生まれではなく、信仰によって神の民となる人々、つまり真の神の民の一員となるのです。この真理に基づき、イエスと異邦人の女性とのやりとりも、私たちにとって決定的に重要です。なぜなら、イエスとの関係は、イエスと同じ民族に生まれた人々だけに限定されるのではなく、信仰によってイエスのもとに来るすべての人に開かれていることが示されているからです。

もちろん、イエス・キリストとの関係は、信仰によってイエスのもとに来るすべての人に開かれているというこの簡潔な真理に基づけば、**イエスにつき従うことへの招きは、どんな人を招いているかという、限定された対象範囲がある**ということになります。このことは、次に起こる出来

事で明らかになります。31節から読み進めましょう。³¹ イエスは再びツロの地方を出て、シドンを通り、デカポリス地方を通り抜けて、ガリラヤ湖に来られた。³² 人々は、耳が聞こえず口のきけない人を連れて来て、彼の上に手を置いてくださいと懇願した。³³ そこで、イエスはその人だけを群衆の中から連れ出し、ご自分の指を彼の両耳に入れ、それから唾を付けてその舌にさわられた。³⁴ そして天を見上げ、深く息をして、その人に「エパタ」、すなわち「開け」と言われた。³⁵ すると、すぐに彼の耳が開き、舌のもつれが解け、はっきりと話せるようになった。イエスは、出発した地点から、ガリラヤ湖の反対側のデカポリス地方に戻ってきました。そして、戻ってきたところで二つ目の癒しが行われますが、ここも異邦人が大部分を占める地域だったので、この男の人も異邦人であったと思われます。この出来事において重要なのは、イエスが、どのように癒しを行われたかです。ここでの癒しは、ほかに行われた癒しよりも、はるかに高い度合いの身体的な接触を伴っています。イエスは、何か奇妙なことをしています。まず、ご自分の指をこの男性の両耳に入れます。そして最も驚くべき点は、イエスがこの癒しにご自分の唾を用いていることだと思います。これは今回だけではありません。少なくとも1回、マルコの福音書第8章に、イエスが唾を使って目の見えない人を癒したことが書かれています。ここで、イエスはなぜ、私たちにはとても不衛生に思えるようなことをなさったのでしょうか。イエスによる癒しが私たちに示すことは、毎回異なります。そして今回の癒しの身体的な要素、特に体液を用いている点は、イエスの十字架の上での死、そしてこの死が、将来、信仰によりイエスのもとに来るすべての人に、究極の霊的癒しをもたらすことを指し示しているのです。十字架の上で、生命を維持する液体である血液、キリスト自身の血が、私たちの身代わりに流されました。キリストの体はローマ兵の鞭で打たれ、引き裂かれ、十字架に釘付けにされ、脇腹をやりで刺されます。この間じゅう、キリストの体からは血が流れ出ていきます。これはすべて、私たちの罪の代価としての神の正当な要求を満たすためでした。ヘブル人への手紙9章22節に、**律法によれば、ほとんどすべてのものは血によってきよめられます。血を流すことがなければ、罪の赦しはありません。**と書かれているとおりです。また、イザヤ書53章5節に、**しかし、彼は私たちの背きのために刺され、私たちの咎のために砕かれたのだ。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、その打ち傷のゆえに、私たちは癒やされた。**と書かれているとおりです。

ここで先ほど読んだ、今日の聖書箇所に戻りましょう。この人がイエスに触れられなければ、そしてイエスの体液に触れなければ、この人は癒されませんでした。私たちの罪がイエスの血に覆われなければ、私たちが罪から赦されることはできません。ですから、イエスにつき従うことへの招きは、その対象としている範囲においては、キリストの血による罪の赦しを経験した人だけに限られています。イエスにつき従うことへの招きは、すべての人に与えられてはいます。特定の人種、国籍、文化に属している必要はありません。しかしイエスとイエスの犠牲、つまりイエスがあなたの罪のために血を流されたことを信じ、その信仰によってイエスのもとに来なければなりません。そうしないのであれば、私たちはイエスにつき従う者ではありませんし、このほかにイエスに従う者となる方法はありません。私たちは、自分で自分を罪から救うことはできません。良い人間であること、宗教的に熱心であること、倫理的であること、やさしくなること、愛すること、ある種の修道的な方法で現世の誘惑から自分を切り離すことで救いを得ようとしても、決して基準を満たすことはできません。罪は、私たちを創造主から引き離し、この罪のための永遠の刑罰は死であると定められています。この罪の問題に対する唯一の解決策は、イエス・キリストを私たちの主であり救い主として受け入れることです。ローマ人への手紙6章23節に、**罪の報酬は死です。しかし神の賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。**と書かれているとおりです。また、コロサイ人への手紙1章13~14節に、**御父（父なる神）は、私たちを暗闇の力から救い出して、愛する御子（イエス・キリスト）のご支配の中に移してくださいました。**¹⁴ **この御子にあって、私たちは、贖い、すなわち罪の赦しを得ているのです。**と書かれているとおりです。いま、もしあなたがイエス・キリストを受け入れていないなら、あなたは失われた者であり、罪に囚われています。社会の目にはこの世で最も道徳的な人であったとしても、神の目から見れば、ローマ人への手紙3章23節にあるとおり、**すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、**ということなのです。イエスはあなたがイエスに

つき従うことを望んでおられます。そしてあなたは罪を悔い改め、イエスを信じイエスの弟子となることにより、罪の赦しを得ます。

罪の赦しとキリストとの関係を見出すためには、自分の罪がイエスの血に覆われることを経験しなければならないことを見ましたが、これに関連して、本日の聖書箇所からイエスにつき従うことへの招きに関する本日の聖書箇所から学ぶべきことが、最後にもう一つあります。イエスにつき従うことへの招きは、犠牲としてのイエスへの招きであり、それ以外ではありません。この癒しが行われたとき、イエスはまだ十字架につけられていませんでしたが、十字架の上で死ぬことこそが、イエスが地上に来られた第一の理由でした。しかしイエスが毎回癒しを行っても、必ずしも罪からの救い主として受け入れられるわけではありませんでした。人々はイエスを王としたが故からです。しかしイエスは人々に、身体的な病を癒す者として知られ、受け入れられることを望んでいたわけではありません。今日の聖書箇所が、36~37節にあるとおり終わっているのはこのためです。**36 イエスは、このことをだれにも言ってはならないと人々に命じられた。しかし、彼らは口止めされればされるほど、かえってますます言い広めた。37 人々は非常に驚いて言った。「この方のなさったことは、みなすばらしい。耳の聞こえない人たちを聞こえるようにし、口のきけない人たちを話せるようにされた。」**人々は、イエスが行った身体的な癒しについて語っていることに注目しましょう。それは当然のことですが、イエスにとっては、ご自分が地上に来られた目的とは別のことでした。イエスによる癒しの行為はすべて、イエスが来た本当の目的は、霊的癒しを与えるためであるという真理を指し示すものでした。しかしこの時点で、イエスの犠牲はまだ実現していません。そしてイエスは、異邦人を含むすべての人に、身体的な病の癒し手としてではなく、十字架の上でこれから実現されるご自身の犠牲を通して知られることを望んでいました。イエスは今も、同じことを望んでおられます。あなたが誰であれ、どこに生まれた人であれ、ご自分につき従う者、ご自分の友、そしてご自分の兄弟としての関係をも望んでおられるのです。**ペテロの手紙第二 第3章9節**には次のように書かれています。**主は、ある人たちが遅れているとと思っているように、約束したことを遅らせているのではなく、あなたがたに対して忍耐しておられるのです。だれも滅びることがなく、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。**イエスは、魂を癒すお方です。ですから私たちは罪を悔い改め、信仰をもってイエスに拠り頼むのです。イエスは、十字架の上で、私たちが流すべき血を流し、私たちの身代わりとして死なれました。私たちに対する罰を、受けられたのです。そして、耳の聞こえない人が再び聞こえるようになったように、また、異邦人の女性の娘が悪霊からの解放を経験したように、私たちも、私たちのために死んでくださったほどに私たちが愛しておられる方に拠り頼むことによって、癒され、罪の呪いから解放されるのです。

最後に皆さん、キリストを知る私たちへのメッセージがあります。イエスが今日の聖書箇所でご自分につき従うことへの招きは、ユダヤ人が拒絶した異邦人を含むすべての人々に与えられていることを明らかに示されているのですから、私たちがこれに従わないわけにはいきません。私たちのメッセージは、日本人、韓国人、アメリカ人、ヨーロッパ人、中国人、アフリカ人.....に限定してはなりません。神が許す限り、私たちはキリストのメッセージを世界と分かち合う方法と機会を求めべきです。横浜のような都市では、私たちの家を出れば、すぐそこで、世界の多くと触れ合うことができます。異なる人種、異なる言語、異なる民族の隣人たちに、彼らも罪の赦しを得て、イエス・キリストにつき従う者になることができるという素晴らしいメッセージを、どう伝えていけばよいでしょうか？祈りましょう。

Mark 7:24-37 Everyone can follow Jesus

Today, we are going to go with Jesus on one of the longest journeys he makes, 120 miles or 193 kilometers total. The journey will begin somewhere around the blue spot, take him to the spot marked with a red dot near Tyre and then a green dot marking Sidon and finally ending at the yellow spot in the area of Decapolis. In Mark 7:24-37, we see two events take place that show the extent of who can follow Jesus, and the answer that becomes clear is... everyone. The most important factor of this journey that you have to recognize is that it is taking place in the area of and with Gentiles not Jews. And apparently although this is an area where his own Jewish people do not live, his fame has already spread there and people know him. If you remember back to chapter 5, where Jesus healed and saved a Demon possessed gentile man, and in a rare change tells the man in [Mark 5:19](#), “Go home to your friends and tell them how much the Lord has done for you, and how he has had mercy on you.” This man apparently became one of the best missionaries ever in spreading the name of Jesus, because those gentiles from his area and beyond knew about Jesus even though average Jews avoided those areas completely.

With that said, let's read the first encounter from verses 24-30. ²⁴ And from there he arose and went away to the region of Tyre and Sidon. And he entered a house and did not want anyone to know, yet he could not be hidden. ²⁵ But immediately a woman whose little daughter had an unclean spirit heard of him and came and fell down at his feet. ²⁶ Now the woman was a Gentile, a Syrophenician by birth. And she begged him to cast the demon out of her daughter. ²⁷ And he said to her, “Let the children be fed first, for it is not right to take the children's bread and throw it to the dogs.” ²⁸ But she answered him, “Yes, Lord; yet even the dogs under the table eat the children's crumbs.” ²⁹ And he said to her, “For this statement you may go your way; the demon has left your daughter.” ³⁰ And she went home and found the child lying in bed and the demon gone.

This first event that happens in the far Gentile regions of Tyre and Sidon is what sets the foundation of **the call to following Jesus being open to all**. The area of Tyre and Sidon was gentile, so this woman who comes to Jesus is a Gentile woman just as Mark makes clear. Her being a Gentile is central to this event. The Jews hated Gentiles, non-Jews. While this attitude was prevalent throughout their society, their extra Biblical rules set up by man made traditions of their religious leaders made almost all contact with Gentiles a situation that would make you spiritually unclean. Jesus recognizes this situation in his words to her, which demonstrate the way that Gentiles were looked at. He essentially placed her in the category of dog. Dogs were not considered cute pets for the most part. To call someone a dog would definitely have been considered derogatory. Now, before we accuse Jesus of racial prejudice, there are some things to understand in Jesus's words and to see why he says what he says. The most important detail that is likely missed in our translations is that the word he uses for dog is actually not the most common word, but it is a word that specifically means a small dog that could and would in many cases live in a household as a pet. So, he was using a less harsh term for dog than what his countrymen would have used. And that is because his point was not to endorse their racism, but to test the woman's faith and make a point regarding who God accepts. Last week in verse 19 of this same chapter we saw that through his words, Jesus made clear that all foods were clean although Jewish law

declared many unclean. Now, he could show that all people had the same opportunity to follow Jesus and be made right with God and not only Jews.

So, this lady asks Jesus to act on her behalf and remove this demon from her daughter. She shows that she believes already that Jesus can do this, and it may even have been based on the testimony of the man that Jesus removed a legion of demons from earlier. Jesus's answer based on the use of the word, dog, is essentially that you don't take the food from the children's plates and give it to the family dog hanging out under the table. By this response, he is already giving an indication of closeness that would have offended most Jews. Gentiles were not like the family pet to be included in the family meal. They were more like the wild dog on the street to be avoided. But it's the faith-filled response of the lady that Jesus responds to when she points out that even the family dog eats the scraps that fall from the children's plates, and therefore benefits from the special place of the children in the house. This showed a deep understanding of what it means to be part of the people of God. What this lady says in her simple but faith-filled response to Jesus's illustration of dogs, is the same thing that the Apostle Paul makes abundantly clear in a deeply theological argument in Romans 9-11. Let's start with [Romans 9:6-8](#). [6 But it is not as though the word of God has failed. For not all who are descended from Israel belong to Israel, 7 and not all are children of Abraham because they are his offspring, but "Through Isaac shall your offspring be named." 8 This means that it is not the children of the flesh who are the children of God, but the children of the promise are counted as offspring.](#) The Biblical story of Isaac and Ishmael born to Abraham is used as the illustration that not all who are born Israelites or Jews are actually Jewish in the sense of being the chosen people of God. Ishmael was born to Abraham, but it was Isaac chosen to be the promised son who would bring about the nation of Israel and the chosen people of God. So the true Israel is not those born as Jews or Israelites but those born again through Jesus Christ to become the people of God. When we read a little further in [Romans 9:30-32](#), we read, [30 What shall we say, then? That Gentiles who did not pursue righteousness have attained it, that is, a righteousness that is by faith; 31 but that Israel who pursued a law that would lead to righteousness did not succeed in reaching that law. 32 Why? Because they did not pursue it by faith, but as if it were based on works.](#) This gets to the heart of the matter that Jesus comes back to over and over. For the most part, the nation of Israel had rejected true righteousness that led to faith in a coming Messiah who would save them from sin and their inability to keep the law. Instead, they were looking to the rules of the Pharisees and other religious leaders. This encounter with the Gentile woman and healing of her daughter shows that the intent was that Jesus had come to save all who came to him in faith, not just his own countrymen the Jews. The Apostle Paul through the Holy Spirit describes this action as us Gentiles being grafted into a tree. [Romans 11:17 says, 17 But if some of the branches were broken off, and you, although a wild olive shoot, were grafted in among the others and now share in the nourishing root of the olive tree...](#) So, we as Gentiles now benefit from the favor shown to Israel the Olive tree, by being grafted in and made part of the true people of God who are God's people by faith, not by birth. This truth makes this interaction between Jesus and the Gentile woman of utmost importance to us, because it means that Jesus is not limited to those who are born of his race, but is open to all who come to him by faith.

Of course, this simple truth that a relationship with Jesus Christ is open to all who come by faith, necessarily means that **the call to follow Jesus is limited in its scope**. This

becomes clear in the next event that takes place. Let's continue reading at verse 31.

³¹ Then he returned from the region of Tyre and went through Sidon to the Sea of Galilee, in the region of the Decapolis. ³² And they brought to him a man who was deaf and had a speech impediment, and they begged him to lay his hand on him. ³³ And taking him aside from the crowd privately, he put his fingers into his ears, and after spitting touched his tongue. ³⁴ And looking up to heaven, he sighed and said to him, "Ephphatha," that is, "Be opened." ³⁵ And his ears were opened, his tongue was released, and he spoke plainly. Jesus now returns to the other side of the Sea of Galilee from where he started to the area of Decapolis. And with this return there is a second healing that took place, and once again since this area was majority Gentile, this man was likely a Gentile as well. But the important part in this interaction with Jesus is how the healing took place. It is far more physical than other healings. Jesus does some weird things. He puts his fingers in the man's ears. Then, I think the most surprising thing Jesus does is use his own spit in this healing. And this wasn't the only time he did this. There is at least one other time in Mark 8 where Jesus uses saliva to heal a blind man. Now, why would He do something that we would consider so unsanitary? Each of these healings has something different to show us, and the physicality of this healing and especially the use of bodily fluid is pointing us to the future death of Jesus on the cross that will bring ultimate spiritual healing to all who come to him by faith. On the cross, the life sustaining fluid, Christ's own blood is spilled on our behalf. His body is touched and ripped by a Roman whip, His body is nailed to a cross, His side is pierced by a spear, and all during that experience, his blood is being drained out of his body. This was all to fulfill God's righteous requirement for the payment for our sin. [Hebrews 9:22](#) says, *Indeed, under the law almost everything is purified with blood, and without the shedding of blood there is no forgiveness of sins.* And [Isaiah 53:5](#) tells us, *But he was pierced for our transgressions; he was crushed for our iniquities; upon him was the chastisement that brought us peace, and with his wounds we are healed.*

Let me take this back to the point I am making here. Without this man being touched by Jesus, without this man having Jesus's bodily fluids touch him, he would not be healed. Without our sins being covered by Jesus's blood, we cannot be forgiven for our sins, so the call to follow Jesus is limited in its scope to only those who have experienced forgiveness of sin through the blood of Christ. The call to follow is open to anyone. You don't have to be a particular race, nationality, or culture; but you DO have to come to him by faith trusting in him and his sacrifice, his shed blood he gave for your sin. Without that, you are not and cannot be a follower of Christ. You cannot save yourself from your sin. You cannot be good enough, be religious enough, be ethical enough, care enough, love enough, separate yourself enough from temptations of this life in some sort of monastic way. The only solution for the problem of sin that separates us from our Creator and condemns us to eternal punishment of death for that sin is accepting Jesus Christ as our Lord and Savior. [Romans 6:23](#) says, *23 For the wages of sin is death, but the free gift of God is eternal life in Christ Jesus our Lord.* And [Colossians 1:13-14](#) says, *13 He (God the Father) has delivered us from the domain of darkness and transferred us to the kingdom of his beloved Son (Jesus Christ), 14 in whom we have redemption, the forgiveness of sins.* Today if you have not accepted Jesus Christ, then you are lost and trapped in sin. In society's eyes, you may be the most moral person alive, but in God's eyes "all have sinned and fall short of the glory of God..." -[Romans 3:23](#). Jesus wants you to follow him, and by becoming his disciple by repentance of sin and faith in him, you will find forgiveness of sin.

The last idea in this passage regarding the call to follow Jesus is related to this idea that you have to experience the blood of Jesus being applied to your sin to find forgiveness of sin and a relationship with Christ. **The call to follow Jesus is only based on his sacrifice.** At the time this healing was happening, remember that Jesus has not yet been crucified, but that was the primary reason he came. Every time he healed, people wanted to make him king, not necessarily accept him as their Savior from sin. Healer of physical illness was not what he wanted people to know and accept him for. That is why this passage ends with verses 36-37, **³⁶ And Jesus^[b] charged them to tell no one. But the more he charged them, the more zealously they proclaimed it. ³⁷ And they were astonished beyond measure, saying, “He has done all things well. He even makes the deaf hear and the mute speak.”** Notice that the people wanted to talk about the physical healing Jesus had done. This is natural of course, but for Jesus, this is outside of the what he came to earth to do. Of course, in all of these acts of healing, he is pointing to the truth of why he really came – to provide spiritual healing. But at this point, his sacrifice had not happened. And he wanted people, all people including Gentiles to know him through his sacrifice that would happen on the cross and not as a healer of physical disease. Jesus has the same desire today, to know you, whoever you, wherever you are from, as his follower, as his friend and even as his brother. **2Peter 3:9 tells us, The Lord is not slow to fulfill his promise as some count slowness, but is patient toward you, not wishing that any should perish, but that all should reach repentance.** We repent of our sin and turn to Jesus in faith, because he is a healer of souls. He did this by dying on the cross, shedding his very blood that should have been ours and dying in our place. He took our punishment. And just as the deaf man could hear again and the woman's daughter experienced freedom from the demon, we can be healed and set free from the curse of our sin by turning to the one who loves you so much he died for you.

Church, the final word to those of us who know Christ is this. If Jesus was clear in extending the invitation to follow him to all people, including those his fellow Jews rejected, then how can we do any different. Our message cannot be limited to Japanese, or Koreans or Americans, or Europeans, or Chinese or Africans...As much as God allows, we need to be seeking ways and opportunities to share the message of Christ with the world. And in a city like Yokohama, much of the world, is right outside the door of our house. How are we going to reach our neighbors of different races, different languages, different ethnicities with the wonderful message that they too can find forgiveness of sin and become a follower of Jesus Christ? Let's pray.